

- 2.利用証・貸出・返却・予約・
更新等の利用方法の説明
3.カード目録とO P A Cの説明
参加者数：249名

(第2部)

場所：附属図書館1階 カウンター前
内容：OPAC/TSSの使用法説明と実習
参加者数：395名

今年も第1部・第2部それぞれ6回ずつ開催し、多くの新生とその他の方にも参加していただきました。第1部のアンケートの回答によりますと（回答数 187）、参加されたのは、新生が 113名で全体の3分の2程度を占め、続いて修士大学院生（28名）、2回生以上の学部生（15名）となっています。

第1部は、スライドと図書館員の説明で、初めての方に附属図書館の利用方法をおわかりいただくためのものでした。説明終了後希望される方に、図書館内を実際に館員が案内してまわるオプションツアーも行い、大変好評をいただきました。



第2部はカウンター前のOPACを使って
実習形式で行いました。資料の検索には必須
のことでもあり、多くの方が参加されて熱心
に聞いていただきました。

また、アンケートでは図書館に対する要望もたくさん書いていただきました。それぞれ検討して今後の参考にさせていただきたいと考えています。

(参考調査卦)

† † † † † † † † † † † † † † † † † † † †

文献収集講座を開催しました

[illegible]

引き続き秋には、論文・レポートを作成しようとする方のための、一歩進んだ図書館の使い方講座を下記の通り開催しました。



-----附属図書館すてき企画-----

論文・レポートのための
文献収集講座

もう迷わない！

図書館の活用で効果的な資料集め

- どんな資料があるの？
- どこにあるの？
- どうやって手に入れるの？

開催日

10月1日(水)～3日(金)

12:10～12:50

10月6日(月)～7日(火)

15:00～15:40

場所：附属図書館3階 AVホール

参加者数：354名

この講座は昨年初めて開催し、大変ご好評をいただきましたので、本年も引き続き開催したものです。図書館職員から、資料を効率的に探し入手するあらすじを具体例をあげながらお話しさせていただきました。

5日間とも大変たくさんの方が参加されて熱心に受講していただきました。

(参考調査掛)

電子図書館的機能の具体化のために 「電子図書館専門委員会」設置

平成9年度の電子図書館システムの予算化に伴い、本学としてどのような内容で新しいシステムを構築するかについて専門的見地から助言していただくために、6月16日付けで標記「電子図書館専門委員会」が商議会のもとに設置されました。専門委員は、各学部・研究所の商議員16名、宇治地区及び本部地区の研究所から各1名、大型計算機センター及び総合情報メディアセンターから助言者各1名計20名で構成されています。

6月19日に第1回、7月11日に第2回の専門委員会が開かれ、京都大学に必要な機能や情報源、京都大学エンサイクロペディアとして電子化する資料、京都大学電子図書館システムの構成内容等について専門的見地からの議論が開始されています。

現在附属図書館では、第2回専門委員会で決定された「資料電子化に関する部局調査」

(アンケート方式)を各部局に依頼し、全学的なコンセンサスを得るための調整材料を作成する作業に取り組んでいるところです。

一方、電子図書館システム及び図書館業務システムの調達のための取り組みも進められてきており、8月8日に行われた開札の結果、運用中の業務システムの契約メーカーである富士通の製品に決まり、導入のための詳細打ち合わせが始まったところです。

9～10月頃に開催される予定の第3回専門委員会において、導入予定システム及び部局アンケート調査を踏まえた具体的な検討をさらに進めてゆく予定です。

(電子情報掛)

《会議において配布された資料》

- ・大学図書館における電子図書館的機能の充実強化について(1996.7.29学術審議会建議)
- ・電子図書館プロジェクトの現状と京都大学電子図書館計画(案)について
- ・京都大学高度電子図書館システム計画書(概要)(1996.6.11)
- ・京都大学電子図書館システム計画における機能(案)について
- ・図書館業務用電子計算機システム仕様書(平成9年5月)
- ・E E S Journal List
- ・共同データベース利用状況(平成8年4月～平成9年3月)(大型計算機センター)
- ・附属図書館参考業務関連利用状況(平成8年度分)
- ・部局発行の定期的出版物一覧(京都大学自己点検・評価報告書1994)
- ・Gutenberg Literature(参考)
- ・電子ジャーナル購入価格について(参考)